

新市場創造型標準化制度

企業相談会のご案内

～市場を創るために自ら規格を作りませんか～

新市場創造型標準化制度に関する企業相談会（無料）を
下記のとおり、全国8か所にて行います。

この制度は、中堅・中小企業等が開発した優れた技術であり、新市場の創造又は拡大が見込まれるものの、既存の規格ではその適切な評価が難しく普及が進まない技術・製品について、性能の評価方法等の標準化を支援する制度です（制度詳細は次頁参照）。

優れた技術を保有し、その標準化にご興味ご関心ある皆様におかれましては
最終頁の面談申込書にご記入の上、当事務局までお送りいただきたくお願い申し上げます。
各地におきまして、標準化アドバイザーが皆様のご相談に対応させていただきます。

全国大会（東京）	10月9日（水）	都市センターホテル
北海道地区大会（札幌）	10月18日（金）	北海道経済センター
東北地区大会（仙台）	10月31日（木）	イズミティ21
中部地区大会（名古屋）	10月29日（火）	今池ガスビル
近畿地区大会（大阪）	10月25日（金）	ドーンセンター
中国地区大会（広島）	10月24日（木）	広島県民文化センター
四国地区大会（高松）	10月23日（水）	サンポートホール高松
九州地区大会（福岡）	10月31日（木）	福岡国際会議場

新市場創造型標準化制度

企業固有の優れた（優れた）技術であり新市場の創造又は拡大が見込まれるものの、既存の規格ではその適切な評価が難しく普及が進まない技術・製品について、新たに国際標準（ISO/IEC）又はJISを制定しようとする際、

- ① 制定しようとする規格の内容を扱う業界団体が存在しない場合
- ② 制定しようとする規格の内容を扱う業界団体が存在するものの、その規格作成の検討が行われていない、あるいはその規格作成の検討が行われる予定がない場合
- ③ 制定しようとする規格の内容が複数の業界団体にまたがるため調整が困難な場合

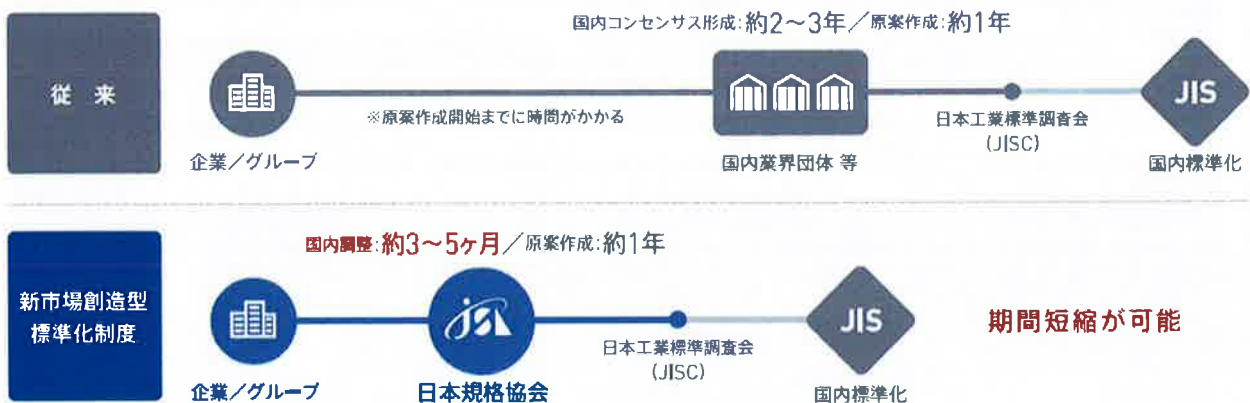
のいずれかに該当するものを対象として、従来の業界団体による原案作成を経ずに、迅速な規格原案の作成等を可能とする制度です。本制度に採択された案件は、経済産業省の委託事業として規格原案の作成支援と国際標準提案の場合は旅費支援等を受けることができます。

（注）

- ・ISO/IEC又はJISはその性格上、制定に当たって利害関係者のコンセンサス形成が必要ですが、本制度は上記①～③に該当するものに限り、既存の枠組みではコンセンサスを得るものが難しい案件を対象として、経済産業省が規格の制定を支援する制度です。ただし、その制定にあたっては原案作成委員会等でのコンセンサスが必要なため、本制度に採択されたことをもって規格の制定が実現できるとは限らないことに留意が必要です。
- ・JISの場合、経済産業大臣専管である案件に限定されます。
- ・JISの場合、本制度の採択は日本産業標準調査会「規格案審議ガイドライン」別紙1「国家標準とすることの妥当性の判断基準」を満たすことが前提です。また既存のJISとの整合が取れることも条件となります。<http://www.jisc.go.jp/jis-act/pdf/guideline.pdf>

標準化までの期間が短縮します。

国内標準の場合



国際標準の場合



新市場創造型標準化制度を活用した事例

標準化の効果

品質の高さを際立たせ、取引先を拡大

- ・株式会社 ワイピーシステム（埼玉県、従業員25名）は、交通事故などで自動車に閉じ込められた時に確実にガラス破碎・シートベルトを切断できる脱出支援ツールを開発。（JIS D 5716制定）
- ・JISに基づく破碎・切断性能を示すことで、新規取引が拡大。

効果

客観的に性能が示せるようになったことで、これまで下請け経由だった取引が自動車メーカー直接となり利益率が向上。また、他の自動車メーカーとの新たな商談も進行中。



性能の見える化による新市場創出・新規顧客開拓

- ・株式会社 悠心（新潟県、従業員23名）は、開封後も内容物の鮮度を保つことが可能な液体容器を開発。特許取得に加え、標準化にも取り組む。（JIS Z 1717制定）
- ・自社技術の優位性を客観的に示す標準作りを行い、当初取引のなかった業界からも引き合いがくるなど、ビジネスチャンスが拡大

効果

調味料業界との取引で、鮮度保持容器の認知度確立。しかし、商品ベースでは競合との販売格差をつけるに至らず。現在、鮮度保持性能の高さから、他業界から大型案件の引き合い。



製品の信頼性を示し、取引先拡大

- ・株式会社 田中電気研究所（東京都、従業員36名）は、火力発電所や清掃工場から排出される低濃度ダスト濃度を自動測定する機器を開発。（JIS B 7996制定）
- ・ダスト濃度計の販売では、実績や客観的な能力評価が重要に。
- ・規格を用いた説明により、取引先への説得力が増し、売り上げが2倍に。

効果

「実績、製品の信頼性を示してほしい」とのニーズにスムーズに答えられる環境に。



「きず」の物差しを作り、評価コストを低減

- ・シグマ株式会社（広島県、従業員180名）は、自動車のシリンダ・バルブボディなどのきずの自動検査装置を開発。（JIS Z 2324-1制定）
- ・しかし、目視で行われるきずの評価は取引先で異なり、関係者のコスト上昇要因に。
- ・標準試験片を開発することで、装置の販売環境を改善。同時に、メーカー側の過剰品質の低減や生産性の向上に寄与。
- ・現在標準試験片を用いた検査装置の性能試験方法の規格開発中。

効果

品質基準の明確化で、取引先の歩留まり・検査時間が大幅に改善。これに伴い検査装置の売り上げも増加。



この他の取組み事例については、<http://www.jisa.or.jp/stdz/partner.html>をご参照ください。

企業相談会申込書

ご希望の地区及び時間を選択し必要事項をご記入の上、E-mail又はFAXにてお申し込みください。

お申込み E-mail:stad@jsa.or.jp FAX:03-4231-8662

御社名：		
御所属：	御担当者氏名：	
E-mail：	電話：	FAX：

御住所：[〒]

企業面談希望地区の時間をお選びください。なお、面談日時は調整させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。確定した日時については、後日、事務局よりE-mailにてご連絡いたします。

地 区	開催場所	日 付	時 間
<input type="checkbox"/> 全国大会（東京）	都市センターホテル	10月9日（水）	<input type="checkbox"/> 10：00～11：00 <input type="checkbox"/> 11：00～12：00 <input type="checkbox"/> 13：00～14：00 <input type="checkbox"/> 14：00～15：00
<input type="checkbox"/> 北海道地区大会（札幌）	北海道経済センター	10月18日（金）	
<input type="checkbox"/> 東北地区大会（仙台）	イズミティ21	10月31日（木）	
<input type="checkbox"/> 中部地区大会（名古屋）	今池ガスビル	10月29日（火）	
<input type="checkbox"/> 近畿地区大会（大阪）	ドーンセンター	10月25日（金）	
<input type="checkbox"/> 中国地区大会（広島）	広島県民文化センター	10月24日（木）	
<input type="checkbox"/> 四国地区大会（高松）	サンポートホール高松	10月23日（水）	
<input type="checkbox"/> 九州地区大会（福岡）	福岡国際会議場	10月31日（木）	

相談内容等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標準化の対象範囲 2. 類似の製品・技術の有無、他社製品・技術との違い・技術的優位性 3. 御社が抱えている課題等 4. 関連する規格の有無及び関連する特許取得状況 5. 関係業界団体の有無、関わり 6. その他（問題点等）
-------	--

お問合せ：一般財団法人日本規格協会 担当：蛭間、岩田

電話：03-4231-8540

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入された個人情報については、保護法を遵守し、法令の定める場合を除き第三者への提供は行いません。